

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－）

タイトル
幕末・明治・大正 しおやの医療史展の開催について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
<p>今も昔も健康は人々の関心事である。近年は医師を主役にしたテレビ番組も放映されるなど医療の歴史にも目が向けられるようになった。各地の自治体史でも同様であるが、これまでは地域の医療発展史の調査研究は少なかった。しかし、近年行われた氏家町史、喜連川町史の編さんでは医療史を取り上げ、調査を実施した。さくら市内では喜連川・佐野医院、大草医院、氏家・長嶋医院などから江戸時代から明治期の医療関係資料が発掘され、塩谷町の青木家などからも貴重な資料が発見されている。</p> <p>江戸時代の当地域医療は基本的に漢方によるものであり、神仏への祈願により病気回復を願うこともあった。江戸時代末期になると西洋医学が広く導入され、たとえば種痘の実施はその例であり、近年は幕末に宇都宮藩でも種痘が実施されたことが実証されている。</p> <p>医療史研究については塩谷郡内の医師を中心に「医療史研究会」が結成された。研究会は氏家町史・喜連川町史編さん事業を通して発掘された膨大な古文書を歴史学だけでなく医学の視点からも分析し『幕末・明治・大正期の医療 塩谷の地から「醫」をさぐる』を刊行するなど、市民の地域医療史への関心は高まりをみせている。</p> <p>今回の企画展では氏家町史、喜連川町史編さん事業を通して行った調査研究の成果をもとに、さくら市や周辺地域の医学、医療の発展史を紹介し、人がいかに病を克服するために努力したかを考える機会とする。</p>

内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）

- 【会 期】 平成28年11月11日（金）～12月18日（日）
 【主 催】 さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－
 【会 場】 さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－美術・企画展示室
 【観覧料】 一般300円（210円）、高校・大学生200円（140円）、小中学生100円（70円）、さくら市内小中学生無料
 さくら市内在住の障がい者手帳をお持ちの方（同伴の介護者）及び
 70歳以上の方は半額 ※（ ）内は20名以上の団体料金

【会期中の休館日】

11月14日（月）、15日（火）、21日（火）、24（木）、28日（月）
 12月 5日（月）、12日（月）

会期中のイベント

- 【記念講演会】 11月12日（土）午後2時から
 講師：酒井シヅ氏（順天堂大学名誉教授、日本医史学会名誉理事長）
 演題「近代の医学への道」
 ※会場：講座室 時間：午後2時より 参加費：無料
 記念講演会は事前申込み不要

【連続講座】

塩谷医療史研究会会員による連続講座「しおやの地から“醫（い）”を探る」

- ① 11月19日（土）「宇都宮藩における種痘実施と明治の種痘」
 講師：大嶽浩良氏（塩谷医療史研究会）
 ② 11月27日（日）「塩谷医療史こぼれ話」
 講師：岡 一雄氏（塩谷医療史研究会会長）・
 戸村 宏氏（塩谷医療史研究会）
 ③ 12月4日（日）「塩谷地区とコレラ、渡辺清絵日記に見る明治
 ・大正期の医療・衛生」
 講師：岡 一雄氏（塩谷医療史研究会）・
 中野英男氏（さくら市ミュージアム前館長）

※ 会場：講座室 時間：午後2時より 参加費：無料
 連続講座は事前申し込みが必要、ただし当日参加も可

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）

所属：さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－
 電話番号：028-682-7123

※ 1案件ごと1枚作成してください。